

社会福学科 介護福祉専攻 2年 前期 専門科目

1. 人間関係とコミュニケーションⅡ
2. 福祉と音楽
3. 社会調査の基礎
4. 生活と法
5. 市民活動論
6. 介護の基本Ⅲ
7. 生活支援技術Ⅲ
8. 介護過程Ⅲ
9. 介護総合演習Ⅲ
10. 認知症Ⅱ
11. 障害の理解Ⅱ
12. こころとからだのしくみⅠ
13. 喀痰吸引
14. 経管栄養
15. 介護実習Ⅰ-②
16. 介護実習Ⅰ-③
17. 介護福祉研究 A

社会福祉学科			介護福祉 専攻		2 年	
科目名: 人間関係とコミュニケーション II				担当教員 氏名: 宮嶋 潔		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	2年次 前期	専門必修科目	講義	必修	介護福祉士(必修)	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		社会福祉士の資格を活かし、組織内外でのチームマネジメントについて経験をもとに授業で活かす。				
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード		
介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材の育成や活用などの人材管理、それらに必要なリーダーシップ・フォローワークシップなど、チーム運営の基礎となる能力を養う。				チームマネジメント、リーダーシップ、フォローワークシップ		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6.		
B 専門的技術	介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解できる。					
E 自己管理能力	介護福祉士として、自らを律して行動できる。					
F チームワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動できる。					
G 倫理観	尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につける。					
H コミュニケーション力	福祉専門職として他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を身につける。					
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: %	レポート: 50 %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 30 %		
特記事項: 「その他:30%」では、演習に対する取り組みや態度について評価する。 本科目では、アクティブ・ラーニングの一環として、グループワークを活用し、学生相互の理解を深める。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 第2回目以降、毎回の授業終了後に自己評価を実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート課題に評価を付けて学生に返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容		学習に必要な 時間(分)	
①全体オリエンテーション～チームマネジメントとは～			【予習】テキスト第3章第1節1を読む 【復習】①の復習		【予習】30分 【復習】30分	
②介護現場で求められるチームマネジメント			【予習】テキスト第3章第1節2を読む。 【復習】②の復習		【予習】30分 【復習】30分	
③介護実践におけるチームマネジメント			【予習】テキスト第3章第1節3を読む 【復習】③の復習		【予習】30分 【復習】30分	
④チームケアとは			【予習】テキスト第3章第2節1を読む 【復習】④の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑤チームでケアを展開するためのマネジメント			【予習】テキスト第3章第2節2を読む 【復習】⑤の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑥チーム力を上げるためのマネジメント			【予習】テキスト第3章第2節3を読む 【復習】⑥の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑦介護福祉士とチームマネジメント・中間まとめ			【予習】①～⑥の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑧介護福祉職のキャリアと求められる実践力			【予習】テキスト第3章第3節1を読む 【復習】⑧の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑨介護福祉職としてのキャリアデザイン			【予習】テキスト第3章第3節2を読む 【復習】⑨の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑩介護福祉職のキャリア支援・開発			【予習】テキスト第3章第3節3を読む 【復習】⑩の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑪自己研鑽に必要な姿勢			【予習】テキスト第3章第3節4を読む 【復習】⑪の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑫介護サービスを支える組織の構造			【予習】テキスト第3章第4節1を読む 【復習】⑫の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑬介護サービスを支える組織の機能と役割			【予習】テキスト第3章第4節2を読む 【復習】⑬の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑭介護サービスを支える組織の管理			【予習】テキスト第3章第4節3を読む 【復習】⑭の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑮チームマネジメント組織マネジメント・まとめ			【予習】⑨～⑭の復習		【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 新・介護福祉士養成講座1「人間の理解」中央法規 ISBN978-4-8058-5761-8			その他参考文献など: 授業の中で適宜紹介する。			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 各テーマは重複する点もあるので、配布した資料等は毎回持参すること。						

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名: 福祉と音楽			担当教員 氏名: 関根 双葉			
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	2年次 前期	専門科目	演習	選択	介護福祉士国家試験受験資格(選択)	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
音楽の療法的意義を学び、歌う、楽器を鳴らす等の演習を通して自ら音楽の効果を感じ、さらに適切な音楽の活用方法を習得する。また「ハンドチャイム合奏」「花を生ける」演習により人が持つ「美意識」「個性」「スピリチュアリティ」に気づきを得る。これらを通して福祉に音楽の活用を推進する支援者を目指す。					音楽療法 統合医療 スピリチュアリティ 花 自然 美意識 個性	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 8. 9. 10		
A 知識・理解力	音楽の療法的意義を理解する					
B 専門的技術	介護の一環に音楽を活用する方法を工夫し習得する。					
E 自己管理能力	自らを律して行動できる					
G 倫理観	スピリチュアリティ、個性、自己受容、美意識の気づきを得、深く人を理解する姿勢を身につける。					
H コミュニケーション力	音楽を介したコミュニケーションを感じ理解し深める。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 30 %	レポート: 40 %	発表: 10 %	生け花演習: 10 %	その他: 10 %		
特記事項: ①「テスト」30%は、2回提出配布資料より問題提出する ②「レポート」は、授業を受け感じたこと、気づいたこと、考えていることを自由記述する。 ③「発表・ディスカッション」は、10% ④生け花演習、10% 「その他」10%は、配布資料の整理と授業態度						
アクティブラーニング要素: 音楽レクレーションをグループ別に実施する。 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テスト・レポートは授業終了後に実施する。発表は随時実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 正誤チェックをしてメッセージを添付し返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①音楽療法について	日本の音楽療法		【予習】1年時「生活支援技術Ⅰ-②」復習【復習】実習体験振り返り	【予習】30分 【復習】30分		
②音楽の効果	音楽演習を通して理解する		【予習】自分の音楽経験を振り返る【復習】「音楽とは」を考える	【予習】30分 【復習】30分		
③音楽活用の実際	高齢者に馴染みの音楽の習得		【予習】高齢者のなじみ曲を調べる【復習】授業で体験した音楽の習得	【予習】30分 【復習】30分		
④障害と音楽(音楽療法事例)	療法的意義を考え学ぶ		【予習】音楽療法について調べる【復習】授業で体験した音楽の習得	【予習】30分 【復習】30分		
⑤人と美意識(花を生ける)	人・花・自然・音楽について気づきを得る		【予習】花により学ぶ意義を考える【復習】花により感じたことを整理	【復習】60分		
⑥障害と音楽(音楽療法事例)	療法的意義を考え学ぶ		【予習】音楽療法について調べる【復習】授業で体験した音楽の習得	【予習】30分 【復習】30分		
⑦障害と音楽(音楽療法事例)	療法的意義を考え学ぶ		【予習】音楽療法について調べる【復習】授業で体験した音楽の習得	【予習】30分 【復習】30分		
⑧音楽活用の実際(個性)	アセスメント		【予習】音楽療法について調べる【復習】実習体験者をアセスメント	【予習】30分 【復習】30分		
⑨音楽活用の実際(施設内日課における活用)	音楽の活用と工夫を考える		【予習】日課において活用法考える【復習】授業で体験した音楽の習得	【予習】30分 【復習】30分		
⑩音楽療法セッションの実際	ディスカッション		【予習】音楽療法について調べる【復習】レポート作成	【予習】30分 【復習】30分		
⑪音楽活用の実際(グループレクレーション)	体操の活用と工夫		【予習】音楽体操を考える【復習】音楽と技術の習得	【予習】30分 【復習】30分		
⑫音楽活用の実際(グループレクレーション)	道具の活用と工夫		【予習】歌に関する道具を見つける【復習】音楽と技術の習得	【予習】30分 【復習】30分		
⑬音楽活用の実際(グループレクレーション)	音楽レクレーションのプログラミング		【予習】プログラミングと実施の準備【復習】音楽と技術の習得	【予習】30分 【復習】30分		
⑭音楽活用の実際(グループレクレーション)	音楽レクレーションのプログラミング		【予習】プログラミング【復習】音楽と技術の習得	【予習】30分 【復習】30分		
⑮まとめ			【予習】授業全内容を確認	【予習】60分		
使用テキスト: 童謡・唱歌・みんなのうた 新装版 新星出版社 1,000円 +税 ISBN978-4-405-07204-6 C2073 ¥1000E			その他参考文献など: ・「認知症ケアと予防の音楽療法」(春秋社)佐々木和佳 伊志嶺理沙、二俣泉著 978-4-393-93546-0C0073 ・「介護予防+認知症予防プログラム・歌遊び・歌体操」(あおぞら音楽社)能村昭子 978-4-904437-15-5			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・音楽演習、音楽療法事例、自らの経験を通して感じ気づきを得ることを望みます。 ・花を生ける演習のために材料費として150円程を収集します。						

社会福祉学科			介護福祉 専攻		2 年	
科目名: 社会調査の基礎				担当教員氏名: 宮嶋 潔		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	2年次 前期	専門選択科目	講義	選択	介護福祉士(選択必修) 社会福祉士受験科目	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		社会福祉士としての実務経験をもとに調査の実際を事例を交えながら授業する。				
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード		
福祉専門職として身につけておくべき利用者や地域のニーズを把握し課題を明確化するための手法である社会調査の基本的な知識と技術を習得し、また、調査における倫理や個人情報保護についても理解する。				社会調査、倫理と個人情報、質問紙、介護福祉研究		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6.		
A 知識・理解力		社会調査の基本的な知識と調査における倫理や個人情報保護について理解することができる。				
B 専門的技術		社会調査の基本的な技術を習得する。				
C 論理的思考力		社会調査に関する知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
D 問題解決力		社会調査法を用いて、利用者や地域の課題を解決する方法を理解することができる。				
G 倫理観		尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につける。				
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: %	発表: 20 %	実技: %	その他: 30 %		
特記事項: 「その他:30%」では、授業態度について評価する。 本科目は、アクティブラーニングの一環として、社会調査を実際に行い、授業において調査結果の発表を行う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時で実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 別に定めた日時で実施するテストに評価を付けて学生に返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な 時間(分)
①オリエンテーション～社会調査の意義と目的～				【予習】テキスト第1章を読む 【復習】①の復習		【予習】30分 【復習】30分
②社会調査の対象と統計法の概要				【予習】テキスト第2章を読む 【復習】②の復習		【予習】30分 【復習】30分
③社会調査における倫理と個人情報保護				【予習】テキスト第5章を読む 【復習】③の復習		【予習】30分 【復習】30分
④量的調査の方法①～全数調査と標本調査～				【予習】テキスト第3章第1節1を読む 【復習】④の復習		【予習】30分 【復習】30分
⑤量的調査の方法②～横断調査と縦断調査～				【予習】テキスト第3章第1節2を読む 【復習】⑤の復習		【予習】30分 【復習】30分
⑥量的調査の方法③～自計式調査と他計式調査～				【予習】テキスト第3章第1節3を読む 【復習】⑥の復習		【予習】30分 【復習】30分
⑦量的調査の方法④～測定～・中間まとめ				【予習】①～⑥の復習		【予習】30分 【復習】30分
⑧量的調査の方法⑤～質問紙の作成方法と留意点～				【予習】テキスト第3章第2節を読む 【復習】⑧の復習		【予習】30分 【復習】30分
⑨量的調査の方法⑥～調査票の配布と回収～				【予習】テキスト第3章第3節を読む 【復習】⑨の復習		【予習】30分 【復習】30分
⑩量的調査の方法⑦～調査の集計と分析～				【予習】テキスト第3章第4節を読む 【復習】⑩の復習		【予習】30分 【復習】30分
⑪質的調査の方法①～観察法～				【予習】テキスト第4章第1節を読む 【復習】⑪の復習		【予習】30分 【復習】30分
⑫質的調査の方法②～面接法～				【予習】テキスト第4章第2～5節を読む 【復習】⑫の復習		【予習】30分 【復習】30分
⑬質的調査の方法③～記録の方法と留意点～				【予習】テキスト第4章第6・7節を読む 【復習】⑬の復習		【予習】30分 【復習】30分
⑭質的調査の方法④～データの整理と分析～				【予習】テキスト第6章を読む 【復習】⑭の復習		【予習】30分 【復習】30分
⑮社会調査の実施にあたってのITの活用方法・まとめ				【予習】⑧～⑭の復習		【予習】30分 【復習】30分
使用テキスト: 新・社会福祉士養成講座 第5巻「社会調査の基礎」中央法規 ISBN978-4-8058-3760-3				その他参考文献など: 「社会調査」のウソーリサーチ・リテラシーのすすめ 谷岡 一郎 著 文藝春秋		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 各テーマは重複する点もあるので、配布した資料等は毎回持参すること。また、2年生にとっては介護福祉研究等に必要な知識と技術であるため、できるだけ多くの学生の受講を期待します。						

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名: 生活と法			担当教員 氏名: 後藤 亜季			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	講義	選択	介護福祉士国家試験受験資格(選択)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
無人島で誰ともかわからずに生きない限り、私たちは必ず、いずれかの社会に属して生活することになる。社会にはルールが存在するが、その中でも特に重要となるルールが法律である。講義では、社会人としてまた介護専門職に就く者として知るべき社会のルールである法律、特に憲法(人権)、生活上重要な民法について理解し、具体的事例について検討する。						法律、人権、自己決定権、生活、契約、判断能力、介護福祉
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短縮マトリックスで示される番号)		2. 5. 8. 10	
A 知識・理解力			社会生活上必要な法的知識の獲得と理解ができる			
C 論理的思考力			法的な考え方(リーガル・マインド)の習得ができる			
D 問題解決力			社会生活上生じる様々な法的問題を解決するために、獲得した法的知識やリーガル・マインドを用いることができる			
E 自己管理能力			法的知識やリーガルマインドの活用により、社会生活上生じる様々な紛争を回避することができる			
G 倫理観			人権や権利擁護に対する正しい理解を得、介護に関する学習や実習、将来に活かすことができる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 100 %	レポート: 0 %	発表: %	実技試験: %	その他: %		
特記事項: 授業中の発言は発言点となる。発言点は、テストで獲得した点数に加算され、合計点で成績評価を行うこととする。なお、授業計画は進捗や履修者の興味関心に応じて変更することがある。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学習、ディスカッション、デベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間レポートを課す。また、最終試験は別に定める日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点して返却する。レポートは解説を行い、試験については模範解答を配布する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス: 授業や評価について理解する 法学概論Ⅰ: 国家や法律はなぜあるかを考え、理解する				{予習}自分の身の回りにある・見開きた法律的事件を確認する {復習}国家や法律がどのような役割を果たすのかをまとめる	{予習}120分 {復習}120分	
②法学概論Ⅱ 法律の種類を理解する 具体的な紛争をどのように解決するか考える				{予習}法律の種類を調べる。紛争はどのように解決されているのか調べる {復習}法と法律の違いを確認する	{予習}120分 {復習}120分	
③法学概論Ⅲ 具体的な紛争が法律によってどのように解決されるかを理解する 法律の機能、特徴を理解する				{予習}見開きた紛争の法的な解決方法を考える。調べる	{予習}240分	
④憲法概論Ⅰ 憲法とはどのような法律か—現代的憲法の成立と人権を中心に理解する				{予習}市民革命について学んでくる {復習}市民革命から現代的憲法の成立までまとめる	{予習}120分 {復習}120分	
⑤憲法概論Ⅱ 人権総論 人権規定について大まかに理解する。個人の尊重の意味を考え、理解する				{復習}憲法において人権規定がどのような意味を持つのか、13、14条と15条以下の人権規定の関係をまとめる	{復習}240分	
⑥憲法概論Ⅲ 人権と私たちの生活1 自己決定権について考え、理解する				{予習}自己決定権について学んでくる {復習}自己決定権についてまとめる	{予習}120分 {復習}120分	
⑦憲法概論Ⅳ 人権と私たちの生活2 自己決定権に関わる現代的課題について考える				{予習}自己決定権に関する現代的な課題を考えてくる {復習}授業で扱った内容の他にどのような現代的課題があるか調べてまとめる	{予習}120分 {復習}120分	
⑧民法概論Ⅰ 民法とはどのような法律かを理解する				{復習}民法が日々の生活にどのように関係しているのか考えながら生活し、気が付いたことをまとめる	{復習}240分	
⑨民法概論Ⅱ 自分らしい生活に契約が欠かせないこと、契約の成立について理解する				{復習}契約の成立や日々の生活の中で行う契約についてまとめ、気が付いたことをメモしておく	{復習}240分	
⑩民法概論Ⅲ 意思表示および判断能力について理解する				{復習}契約と関連付けて意思表示や判断能力についてまとめる	{復習}240分	
⑪民法総論Ⅳ 成年後見制度を理解し、具体的事例を検討する				{復習}成年後見制度についてまとめ、具体的事例における適用場面を検討する	{復習}240分	
⑫民法総論Ⅴ 成年後見制度の利用実態や課題を理解する				{予習}介護現場における成年後見制度の問題を考えてくる {復習}成年後見制度利用促進に向けた動きを調べ、自分が現場で何が出来るかを考えてまとめる	{予習}120分 {復習}120分	
⑬民法総論Ⅵ 家族扶養を理解する				{復習}家族による扶養や介護、社会保障についてまとめ、課題に対して検討する	{復習}240分	
⑭レポート解説				{復習}返却されたレポートを確認し、習得できていない部分をさらう	{復習}240分	
⑮まとめ				{予習}これまでの内容を復習してくる	{予習}240分	
使用テキスト: 福祉小六法(既に購入しているものを利用してください。新しく買う必要はありません)				その他参考文献など: ・高校生からの法学入門(中央大学法学部) ・伊藤真の法学入門 講義再現版(日本評論社)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 配布したレジュメに従って授業を行います(社会福祉六法は適宜利用します)。法律は難しいと思っているかもしれませんが、次の点でこの授業は皆さんにとって役に立つと思います。社会のルールである法律の習得は、①社会人となる皆さんにとって必要であること、②多様な人々が暮らす社会においてその多様性を認めた上で、利用者さん本人の意思を尊重した適切な介護を行う専門家として活躍する際に、とりわけ大切な行動指針を与えてくれること、③現代の社会的な問題や、日々において直面する問題の本質を理解したり、解決する力を養うことができること。具体的な事例を用いて、皆さんに参加していただきながら、できるだけわかりやすく、楽しく授業を進めていきます。是非意欲的に参加してください。なお、受講者の希望に合わせて内容を変更することがあります。						

社会福祉学科			介護福祉 専攻		2 年
科目名: 市民活動論				担当教員 氏名: 宮嶋 潔	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 前期	専門選択科目	講義	選択	介護福祉士(選択必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			社会福祉士としての実務経験をもとに市民活動の実際について事例を交えて授業する。		
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
近年、ボランティア活動やNPO活動など、様々な市民活動が活発化しており、今後ますます市民活動の果たす役割は重要なものとなる。本科目では、ボランティア活動・NPO活動の歴史・理念や日本《富山県》におけるボランティア活動・NPO活動の現状や課題について学ぶことを通じて、市民活動についての理解を深める。				ボランティア(活動)、奉仕活動、NPO(活動)、市民活動、ボランティアセンター、ボランティアコーディネーター	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 10	
A 知識・理解力	市民活動(ボランティア・NPO活動含む)について、その意義や役割について理解することができる。				
C 論理的思考力	市民活動に関する知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
F チームワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動できる。				
G 倫理観	尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につける。				
H コミュニケーション力	福祉専門職として他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を身につける。				
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %	レポート: %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 30 %	
特記事項: 「その他:30%」では、授業態度について評価する。 本科目は、アクティブ・ラーニングの一環として、グループディスカッションを活用し、ボランティア活動プログラムの企画を行い、プレゼンテーションを行う。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時に実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 実施するテストに評価を付けて学生に返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容		学習に必要な時間(分)
①オリエンテーション～ボランティア活動と奉仕活動～			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】①の復習	【予習】30分 【復習】30分	
②ボランティア活動の歴史～COS運動とセツルメント運動～			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】②の復習	【予習】30分 【復習】30分	
③日本とアメリカのボランティア活動の違い			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】③の復習	【予習】30分 【復習】30分	
④日本国内のボランティア活動の現状と課題			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】④の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑤富山県内のボランティア活動の現状と課題			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】⑤の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑥ボランティアセンターとボランティアコーディネーター			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】⑥の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑦自分のまちのボランティア活動・中間まとめ			【予習】①～⑥の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑧世界のNPO			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】⑧の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑨日本のNPO			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】⑨の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑩NPOと法律			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】⑩の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑪NPOの存在意義とは			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】⑪の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑫NPO活動の実際			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】⑫の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑬市民活動とは			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】⑬の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑭市民活動の意義と課題			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】⑭の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑮福祉専門職と市民活動・まとめ			【予習】⑧～⑭の復習	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 「よくわかるNPO・ボランティア」川口清史, 田尾雅夫, 新川達郎【編】ミネルヴァ書房 ISBN4-623-04098-4			その他参考文献など: 「ボランティア・NPO用語事典」大阪ボランティア協会【編】中央法規 ISBN978-4-8058-2427-6		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ボランティア活動に興味や関心のある学生の受講を期待します。					

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名: 介護の基本Ⅲ				担当教員 氏名: 毛利 亘		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	講義	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		介護福祉士および施設管理者としての経験を有した教員が、専門職として基本的な考え方や姿勢の根拠となる尊厳の保持の観点から、ニーズや特性に応じたサービスについて学ぶ。				
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
本科目は介護の基本Ⅰ・Ⅱと同様に、介護領域の礎となる科目である。自立支援に繋げる観点から要介護者の特性に応じたフォーマルサービス、インフォーマルサービスを理解し、尊厳を重視した個別ケアを考える科目である。						介護福祉士 尊厳 その人らしさ 生活ニーズ
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		2. 3. 4. 5. 6. 7. 8	
A 知識・理解力			介護福祉士の現状を理解することができる			
C 論理的思考力			介護実践における連携の必要性を思考することができる			
G 倫理観			介護福祉士倫理綱領から介護福祉士の倫理について考察することができる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: 20 %	発表: %	実技試験: %	その他: 30 %		
特記事項: 本科目は、アクティブラーニングを基本とする為、講義中に求められる介護福祉士像、介護福祉士倫理綱領等に関して、学生間で議論する。その他の30%は、授業態度、各内容のグループワーク等の参加姿勢を評価します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時に試験を実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 試験やレポートの結果を本人に伝えます。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①介護福祉士を必要とする人の理解				テキスト1章1節を事前に読み、事後は資料を整理する。	【予習】30分 【復習】30分	
②私たちの生活の理解				テキスト1章1節を事前に読み、事後は資料を整理する。	【予習】30分 【復習】30分	
③介護福祉を必要とする人たちの暮らし				テキスト1章2節を読んでおく。会の活動を調べレポート作成。	【予習】30分 【復習】30分	
④「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解				テキスト1章3節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
⑤その人らしさとは何か				配布資料の確認	【予習】30分 【復習】30分	
⑥その人らしさの背景				配布資料の確認	【予習】30分 【復習】30分	
⑦生活ニーズの理解				配布資料の確認	【予習】30分 【復習】30分	
⑧中間評価と前半のまとめの授業				これまでのテキストや配布資料の確認	【予習】30分 【復習】30分	
⑨生活のしづらさの理解とその支援				配布資料の確認	【予習】30分 【復習】30分	
⑩生活を支えるフォーマルサービス(社会的サービス)とは				テキスト2章2節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
⑪高齢者のためのフォーマルサービス				テキスト2章2節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
⑫障害者のためのフォーマルサービス				テキスト2章3節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
⑬生活を支えるインフォーマルサービス -費用負担				テキスト3章2節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
⑭生活を支えるインフォーマルサービス -種類と提供者				テキスト3章2節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
⑮地域連携、まとめと最終評価				テキスト3章3節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 最新・介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」 ISBN978-4-8058-5764-9 中央法規出版				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 日頃からテレビや新聞等で介護や介護福祉士に関するニュースや記事に関心をもって、授業に参加してください。						

社会福祉学科			介護福祉 専攻		2年	
科目名: 生活支援技術Ⅲ				担当教員 氏名: 小出 えり子、宮城 和美		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	演習	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 看護師としての臨床経験を活かし、基礎的知識や技術を修得できる授業をする。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
代表的な疾患の概要の理解をふまえ、心身に障害を抱えながら生活する人の状態・状況に応じた生活支援を身体面・精神面・心理面・社会面や福祉用具の活用から総合的に支援できる介護福祉士を目指す科目である。						個別ケア 障害の受容 ICFの視点 心身状態・状況
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 9. 10	
A 知識・理解力			医療等の介護関連知識に基づいて、障害を抱える人への生活の困難さに対する心身に 応じた支援方法を習得する。			
B 専門的技術			障害や病気と共に生きる人の状況を把握し、根拠に基づいた生活支援技術を習得する。			
D 問題解決力			障害や病気に伴う生活の困難さに対して、必要な情報を収集・分析し、その問題解決能力を身につける。			
F チームワーク・リーダーシップ			医療職等の他職種の役割を理解し、チームに参画して連携のあり方を学ぶ。			
H コミュニケーション力			障害や病気と共に生きる人の立場に立って考えることができる経験を積んで、社会福祉に生きる「私」になる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %		レポート: 20 %		発表: 20 %		実技試験: % その他: 20 %
特記事項: その他の20%は、授業態度、参加姿勢を評価します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時に実施します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストや提出レポートにコメントを記載して返却します。						
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座8『生活支援技術Ⅲ』中央法規出版 ISBN978-4-8058-5768-7 C3036				その他参考文献など: 授業の中で適宜紹介をする。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 適宜資料を配布しますので、各自で整理・保管してください。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な時間(分)
回数	※人体の構造と機能、一般臨床医学の概要、現代社会の代表的な疾病の概要等について、各回のテーマに沿って学ぶ					
1	【小出】利用者の状態・状況に応じた生活支援技術とは何か			【予習】テキストを読む。 【復習】①の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
2	【小出】内部障害<心臓機能障害>のある人と生活の理解			【予習】テキストを読む。 【復習】②の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
3	【小出】内部障害<心臓機能障害>に応じた介護			【予習】テキストを読む。 【復習】③の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
4	【小出】内部障害<腎機能障害>のある人と生活の理解			【予習】テキストを読む。 【復習】④の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
5	【小出】内部障害<腎機能障害>に応じた介護			【予習】テキストを読む。 【復習】⑤の復習する。		【予習】30分 【復習】30分

※前ページよりつづき

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名： 生活支援技術Ⅲ		担当教員 氏名： 小出 えり子、宮城 和美		
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等)		
		学習内容	学習に必要な時間(分)	
6	【小出】内部障害<呼吸器機能障害>のある人と生活の理解	【予習】テキストを読む。 【復習】⑥の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
7	【小出】内部障害<呼吸器機能障害>に応じた介護	【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑦の復習する	【予習】30分 【復習】30分	
8	【小出】内部障害<膀胱・直腸機能障害・小腸機能障害>のある人と生活の理解	【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑧の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
9	【小出】内部障害<膀胱・直腸機能、小腸機能障害>に応じた介護	【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑨の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
10	【小出】内部障害<HIVによる免疫機能障害、肝臓機能障害>のある人と生活の理解	【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑩の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
11	【小出】内部障害<HIVによる免疫機能障害、肝臓機能障害>に応じた介護	【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑪の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
12	【小出】知的障害者と生活の理解	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※第2回から第21回において は、適宜、以下の内容を扱う。 1) がん、生活習慣病 2) 各種感染症 3) 神経疾患 4) 精神疾患 5) 先天性疾患 6) 難病 7) その他 </div>	【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑫の復習する。	【予習】30分 【復習】30分
13	【小出】知的障害に応じた介護		【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑬の復習する。	【予習】30分 【復習】30分
14	【小出】精神障害者と生活の理解		【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑭の復習する。	【予習】30分 【復習】30分
15	【小出】精神障害に応じた介護		【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑮の復習する。	【予習】30分 【復習】30分
16	【小出】高次脳機能障害のある人と生活の理解		【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑯の復習する。	【予習】30分 【復習】30分
17	【小出】高次脳機能障害に応じた介護		【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑰の復習する。	【予習】30分 【復習】30分
18	【小出】発達障害の人と生活の理解		【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑱の復習する。	【予習】30分 【復習】30分
19	【小出】発達障害に応じた介護	【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑲の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
20	【小出】重複障害<盲ろう>の人と生活の理解、応じた介護	【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑳の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
21	【小出】難病<ALS・パーキンソン病>の人と生活の理解、応じた介護	【予習】テキストを読んでくる。 【復習】21の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
22	【小出】難病<悪性関節リウマチ・筋ジストロフィー>の人と生活の理解、応じた介護	【予習】テキストを読んでくる。 【復習】22の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
23	【小出】重症心身障害の人と生活の理解	【予習】テキストを読んでくる。 【復習】23の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
24	【小出】重症心身障害に応じた介護	【予習】テキストを読んでくる。 【復習】24の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
25	【宮城】高齢者・障害者への支援方法について<富山型デイサービス>	【予習】富山型デイについて調べてくる。 【復習】25の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
26	【宮城】富山型デイサービスの経営者から学ぶ	【予習】富山型デイについて調べてくる。 【復習】26の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
27	【宮城】医療対応時の介護<異常発見時・受診時の介護>	【予習】異常発見時の介護について調べてくる。 【復習】27の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
28	【宮城】医療対応時の介護<包帯法>	【予習】包帯法について調べてくる。 【復習】28の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
29	【宮城】医療対応時の介護<薬剤使用時の介護>	【予習】薬剤使用時の介護について調べてくる。【復習】29の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
30	【宮城】緊急時対応の知識と技術	【予習】緊急時対応を調べてくる。	【予習】30分	

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名: 介護過程Ⅲ			担当教員 氏名: 毛利 亘・宮城和美			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	演習	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのよう介護実習Ⅱ-①で情報収集したケース情報を用いて、アセスメントの方法について学び直し、介護過程の実践的展開うな授業を行っているか: に結びつける。計画立案と実施、評価について学ぶ。介護現場の実務経験がある教員が担当する。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
介護福祉士には専門的知識・技術を根拠とした、客観的で科学的な思考過程による介護過程の展開能力が求められます。本科目ではその介護過程の特に立案・実施・評価の過程、及び利用者の特性に応じた介護過程の実践を演習を通して学びます。また介護実習Ⅱ-②に向けた実習記録を使用した演習も行います。						計画の実施・評価 介護実習Ⅱ-② 記録方法 チームワーク
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 8. 9.	
A 知識・理解力			介護過程の展開方法が理解でき、展開に必要な知識が理解できる。			
C 論理的思考力			介護過程を展開する上で、学んだ知識を組み立てることができ、根拠に基づいた思考ができる。			
D 問題解決力			事例を通して、介護過程を展開し介護実践の評価について理解できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: %	発表: 30 %	実技試験: %	その他: 20 %		
特記事項: 本科目は、アクティブラーニングを基本とする為、発表30%、その他の20%は各内容の事例発表、グループワーク等の参加姿勢を評価します。30回目に介護実習Ⅱ-①で体験した事例をもとに、グループで事例報告をします。授業はグループに分かれて事例展開の演習を行ないます。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時に実施します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 試験やレポートの結果を本人に伝えます。						
使用テキスト: 最新・介護福祉士養成講座9「介護過程」 ISBN978-4-8058-5769-4 中央法規出版、「みんないきいき介護保険」社会保険出版社 89435				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 実習での事例を通して学んだ気づきを知識につなげ、介護過程展開の力を養ってください。						
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)
						学習内容
回数						
1	介護実習Ⅱ-①の事例から学ぶ アセスメントの実際					予習: テキストを読んでくる。【予習】30分 復習: 授業の復習 【復習】30分
2	介護実習Ⅱ-①の事例から学ぶ アセスメントの実際					予習: テキストを読んでくる。【予習】30分 復習: 授業の復習 【復習】30分
3	介護実習Ⅱ-①の事例から学ぶ アセスメントの実際					予習: テキストを読んでくる。【予習】30分 復習: 授業の復習 【復習】30分
4	介護実習Ⅱ-①の事例から学ぶ アセスメントの実際					予習: テキストを読んでくる。【予習】30分 復習: 授業の復習 【復習】30分
5	介護実習Ⅱ-①の事例から学ぶ介護計画の立案					予習: テキストを読んでくる。【予習】30分 復習: 授業の復習 【復習】30分

※前ページよりつづき

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名： 介護過程Ⅲ		担当教員 氏名： 毛利 亘・宮城和美	
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等)	
		学習内容	学習に必要な時間(分)
6	介護実習Ⅱ－①の事例から学ぶ介護計画の立案	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
7	介護実習Ⅱ－①の事例から学ぶ介護計画の立案	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
8	介護実習Ⅱ－①の事例から学ぶ介護計画の立案 5W1Hの視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
9	介護実習Ⅱ－①の事例から学ぶ援助内容と実践方法 ICFの視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
10	介護実習Ⅱ－①の事例から学ぶ援助内容と実践方法 PDCAサイクルの視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
11	介護実習Ⅱ－①の事例から学ぶ援助内容と実践方法 多職種連携の視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
12	介護実習Ⅱ－①の事例から学ぶ援助内容と実践方法 社会資源の活用の視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
13	介護実習Ⅱ－①の担当事例の振り返りと介護過程の展開 5W1HとICFの視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
14	介護実習Ⅱ－①の担当事例の振り返りと介護過程の展開 PDCAサイクルの視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
15	中間評価 事例検討を行い、介護過程の展開について理解する	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
16	評価の意義と目的	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
17	評価の内容 評価の項目と視点を理解する	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
18	評価の方法を理解する	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
19	評価の際の留意点を理解する 5W1HとICFの視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
20	評価の際の留意点を理解する PDCAサイクルの視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
21	計画修正について 5W1HとICFの視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
22	計画修正について PDCAサイクル・多職種連携・社会資源の活用の視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
23	事例で考える介護過程の展開 5W1HとICFの視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
24	事例で考える介護過程の展開	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
25	事例から学ぶ介護過程とケアマネジメント 介護福祉専攻・社会福祉専攻・看護学科の学生によるロールプレイとディスカッションの 準備	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
26	事例から学ぶ介護過程とケアマネジメント 介護福祉専攻・社会福祉専攻・看護学科の学生によるロールプレイとディスカッション	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
27	事例から学ぶ介護過程とケアマネジメント 介護福祉専攻・社会福祉専攻・看護学科の学生によるロールプレイとディスカッション	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
28	チームアプローチにおける介護福祉士の役割 IPW・IPEの視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
29	チームアプローチにおける介護福祉士の役割 地域包括ケアシステムの視点から	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分
30	まとめと振り返り 介護過程を各自で展開できるか事例検討・介護過程の展開の理解	予習:テキストを読んでくる。 復習:授業の復習	【予習】30分 【復習】30分

社会福祉学科

介護福祉 専攻

2 年

科目名： 介護総合演習Ⅲ				担当教員 氏名： 宮嶋 潔		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	2年次 前期	専門選択科目	演習	選択	介護福祉士(必修)	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			実務経験をもとに実習生としての心構えや行動等について事例を交えながら授業する。			
授業科目の学習教育目標の概要：				キーワード		
本科目は、多様な場で生活する利用者・家族とのコミュニケーションを通してサービス機能と利用者像を理解することを目標とした介護実習Ⅰ-②(訪問介護実習)、Ⅰ-③(障害者施設等実習)のための予習・復習指導科目です。				障害福祉サービス、ホームヘルパー、家族、地域、アセスメント、エンパワメント		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 4. 5. 6. 7. 9		
A 知識・理解力	居宅で暮らす利用者や障がい者が生活する場や生活の実際を知り、支援方法を理解することができる。					
B 専門的技術	高齢者や障がい者の生活支援技術の実践力をやしなう。					
C 論理的思考力	利用者の生活状況からアセスメントし、ニーズを思考することができる。					
F チームワーク・リーダーシップ	同職種・他職種との連携のあり方を学ぶことができる					
成績評価の基準と方法： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： %	レポート： 30 %	発表： 50 %	実技試験： %	その他： 20 %		
特記事項： その他とは、授業への取り組みの姿勢や提出物の遵守をいいます。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：本科目は、アクティブ・ラーニングの一環として、実習直前に予習打ち合わせ報告会、実習直後に復習報告会を巡回教員単位で実施します。また全体で実習報告会を行います。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：テストや提出レポートにコメントを記載して返却します。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容		学習に必要な時間(分)	
①介護実習Ⅰ-②の概要と目的および実施方法について			【予習】テキストを読んでくる。 【復習】①の復習する。		【予習】30分 【復習】30分	
②居宅介護事業所とホームヘルパーの役割			【予習】テキストを読んでくる。 【復習】②の復習する。		【予習】30分 【復習】30分	
③居宅介護のしくみと利用者について			【予習】テキストを読んでくる。 【復習】③の復習する。		【予習】30分 【復習】30分	
④居宅介護実習に向けた生活支援技術(家事支援)について			【予習】テキストを読んでくる。 【復習】④の復習する。		【予習】30分 【復習】30分	
⑤介護実習Ⅰ-③の概要と目的および実施方法について			演習を振り返る		【復習】30分	
⑥障がい者施設等の理解			演習を振り返る		【復習】30分	
⑦利用者支援のしくみと利用者理解			演習を振り返る		【復習】30分	
⑧中間評価と振り返り			演習を振り返る		【復習】30分	
⑨介護実習Ⅰ-②の記録について			演習を振り返る		【復習】30分	
⑩介護実習Ⅰ-③の記録について			演習を振り返る		【復習】30分	
⑪予習打ち合わせ訪問に向けて			演習を振り返る		【復習】30分	
⑫特別講義(居宅介護実習)			演習を振り返る		【復習】30分	
⑬特別講義(障害者施設等実習)			演習を振り返る		【復習】30分	
⑭介護実習Ⅰ-②、Ⅰ-③予習オリエンテーション			演習を振り返る		【復習】30分	
⑮報告会			演習を振り返る		【復習】30分	
使用テキスト： ・最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」 中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会 ISBN978-4-8058-5770-0 ・「令和2年度実習要綱」				その他参考文献など：		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 実習に向けての重要な科目です。積極的に取り組んでください。						

社会福祉学科

介護福祉 専攻

1年

科目名: 認知症Ⅱ			担当教員 氏名: 境 美代子 宮城 和美			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	講義	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修)
実務経験を用いてどのよ: 認知症の人の生活および家族や社会との関わりへの影響、地域で支えるサポート体制、多職種連携・協働による基礎的支援などを うな授業を行っているか: 習得する。認知症利用者がいる介護老人福祉施設や病院で介護福祉士や看護師としての経験がある教員が担当する。						
						キーワード
認知症の人やその家族へのケアについて学ぶ。「認知症の受容過程」への支援、家族の介護力評価、レスパイト等認知症の人とその家族を支える地域連携についても学ぶ。						尊厳の保持 パーソンセンタードケア チームアプローチ 地域連携 レスパイト ケア
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		2. 4. 5. 6. 7. 9	
A 知識・理解力			認知症の基礎的知識を身に付け、ケアに関わる専門性を発揮する。			
D 問題解決力			問題解決に必要な情報を収集・分析し、行動状況をアセスメントできる。			
G 倫理観			尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につける。			
H コミュニケーション力			他者に共感でき、相手の立場や状況を判断できる力を身につける。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %		レポート: 20 %		発表: 20 %		実技試験: % その他: 20 %
特記事項: 本科目は、アクティブラーニングを基本とする為、講義中に認知症高齢者との関わり方、より良いケアを学生間で議論する。その他20%は、授業の態度やグループワークの参加度について評価をする。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時に実施します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストやレポートの結果を本人に伝えます。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容		学習に必要な 時間(分)	
【境】①認知症の人の生活理解(社会との関わりへの影響)			【予習】テキストを読む 【復習】①の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【境】②認知症の人の生活理解(社会的環境の力)			【予習】テキストを読む 【復習】②の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【境】③認知症の人の生活理解(生活を続ける)			【予習】テキストを読む 【復習】③の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【境】④認知症の人に対する介護(本人主体の理念に基づいた関わり)			【予習】テキストを読む 【復習】④の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【境】⑤認知症の人に対する介護(認知症への気づき)			【予習】テキストを読む 【復習】⑤の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【境】⑥認知症の人に対する介護(認知症の進行に応じたケアの実践)			【予習】テキストを読む 【復習】⑥の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【境】⑦認知症の人に対する介護(地域で支える)			【予習】テキストを読む 【復習】⑦の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【境】⑧認知症の人の生活理解のまとめ			【予習】配布した資料を読む 【復習】⑧の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【宮城】⑨地域の力を活かす(地域におけるサポート体制)			【予習】テキストを読む 【復習】⑨の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【宮城】⑩地域の力を活かす(チームアプローチ)			【予習】テキストを読む 【復習】⑩の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【宮城】⑪家族の力を活かす(介護者自身の体験)			【予習】テキストを読む 【復習】⑪の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【宮城】⑫家族の力を活かす(家族へのレスパイトケアとエンパワメント)			【予習】テキストを読む 【復習】⑫の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【宮城】⑬家族の力を活かす(家族会と介護教室)			【予習】テキストを読む 【復習】⑬の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【宮城】⑭認知症に関する制度・関係機関など			【予習】テキストを読む 【復習】⑭の復習		【予習】30分 【復習】30分	
【宮城】⑮認知症の人に対する介護のまとめ 新オレンジプランの理解			【予習】配布した資料を読む		【予習】30分	
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座13「認知症の理解」中央法規出版 ISBN978-4-8058-5773-1 C3036 (1年次に購入したテキストを使用します)			その他参考文献など: 介護福祉士用語辞典			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): この科目は、「介護福祉士としての専門性」として期待される分野である。しっかりマスターしてください。						

社会福祉学科			介護福祉 専攻			
科目名: 障害の理解Ⅱ			担当教員 氏名: 境 美代子 目黒 達哉			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	講義	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 臨床心理士や看護師としての実務経験を有した教員が、その経験を生かして、障害者の心理や家族の心理について解説する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
社会福祉の援助活動と心理学理論の関連について理解し、障害のある人の心理的理解を深め、家族支援、地域サポート体制について学ぶ。					障害児・者の心理 家族支援 地域のサポート体制	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		2. 5. 6. 7. 9. 10	
A 知識・理解力			障害について理解し、介護の専門的な知識を身につける。			
F チームワーク・リーダーシップ			他職種の役割を理解し、チームワークの一員として専門性を発揮する。			
G 倫理観			尊厳を支え、人権擁護の視点を身に付けてひと・もの・ことに働きかける。			
H コミュニケーション力			他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる福祉の社会に生きる私になる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %		レポート: 40 %		発表: %	実技試験: %	その他: 20 %
特記事項: 本科目は、アクティブラーニングを基本とする為、講義中に障害者の支援、その家族の支援等を学生間で議論する。その他の20%は、授業態度、各内容のグループワーク参加姿勢を評価します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 第8回目にレポート課題があります。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 試験やレポートの結果を返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【境】障害のある人に対する介護の基本的視点				【予習】テキストを読んでくる	【予習】60分	
②【境】視点に基づいた個別支援				【予習】テキストを読んでくる	【予習】60分	
③【境】社会資源の利用と開発				【予習】テキストを読んでくる	【予習】60分	
④【境】家族への支援とは何か				【予習】テキストを読んでくる	【予習】60分	
⑤【境】家族の状態の把握と介護負担の軽減				【予習】テキストを読んでくる	【予習】60分	
⑥【境】保健・医療・福祉・教育・労働サービスの連携(チームアプローチ)				【予習】テキストを読んでくる	【予習】60分	
⑦【境】地域におけるサポート体制				【復習】①～⑦の復習する	【復習】60分	
⑧【目黒】障害児・者の心理を学ぶにあたっての基本的理解 ※障害者の心理的理解、人間理解のための心理学理論と技法、心理的援助法の概要を含む				【予習】テキストを読んでくる 【復習】テキストをまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑨【目黒】身体障害者の心理				【予習】テキストを読んでくる 【復習】テキストをまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑩【目黒】知的障害児・者の心理				【予習】テキストを読んでくる 【復習】テキストをまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑪【目黒】自閉症の心理				【予習】テキストを読んでくる 【復習】テキストをまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑫【目黒】発達障害の心理				【予習】テキストを読んでくる 【復習】テキストをまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑬【目黒】中途障害者の心理				【予習】テキストを読んでくる 【復習】テキストをまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑭【目黒】精神障害者の心理				【予習】テキストを読んでくる 【復習】テキストをまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑮【目黒】重症心身障害児・者の心理、まとめ				【復習】⑧～⑮の復習する	【復習】240分	
使用テキスト: 最新・介護福祉士養成講座「障害の理解」中央法規 ISBN 978-4-8058-5774-8				その他参考文献など: 現代心理学の基礎と応用-人間理解と対人援助-芝垣正光 /目黒達哉【編】(樹村房)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 障害を受けた人の個別性について考えてみよう。						

社会福祉学科			介護福祉 専攻			
科目名: ころとからだのしくみ I			担当教員 氏名: 石黒 真弓			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	講義	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉士主任任用資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			特別養護老人ホームやデイサービスでの実例を基に、ヒトの心と身体について考えていきます。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
介護サービスを提供する際の心理的な根拠を理解する。多様な介護サービスに専門的に応えていくためには、エビデンスに裏付けられたサービスが必要であり、ころのしくみの基礎(人間として基本的な要求および心理学理論による人間理解とその方法)から学ぶ。人間の基本的・社会的な欲求、自己概念と尊厳、思考、学習、記憶、感情、動機づけなど。					ころ 人間の基本的・社会的な欲求 自己概念と尊厳・思考・学習・記憶 感情動機付け	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力			人間の基本的な心理について知識を身につけます			
C 論理的思考力			知識をもとに日常生活で起こりやすい事柄について自分なりに考えます			
F チームワーク・リーダーシップ			さまざまな考えをまとめ、集団活動に生かします			
H コミュニケーション力			自身の考えを主張するだけでなく、他者との調和を図るスキルを身につけます			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: %		レポート: 30 %		発表: 20 %		実技試験: %
その他: 50 %						
特記事項: 身近な事例を基にグループ内の討議を毎回導入します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:コメントを書いて返却します。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な 時間(分)	
①ころのしくみを学ぶ意義(心理学の意義と歴史)				授業内の重要語句の意味を確認		
②人間の欲求の基本的理解 (心理学の対象と研究方法、人間の心理学的理解、人間理解のための心理学理論と技法)				人の欲求は何かがあるか考えよう		
③自己実現といきがい				いきがいとは何かまとめてください		
④ころのしくみに関する基礎概念(思考)				思考のしくみの理解		
⑤ころのしくみに関する基礎概念(学習)				学習のしくみの理解		
⑥ころのしくみに関する基礎概念(記憶)				記憶のしくみの理解		
⑦まとめ(レポート)				【予習】①～⑥を整理しよう		
⑧ころのしくみに関する基礎概念(感情)				感情のしくみの理解		
⑨ころのしくみに関する基礎概念(認知)				認知のしくみの理解		
⑩ころのしくみに関する基礎概念(意欲)				思考のしくみの理解		
⑪ころのしくみに関する基礎概念(動機づけ)				行動する理由を整理しよう		
⑫適応のしくみの理解				適応とは何か考えよう		
⑬人間の社会的欲求				人の欲求と関連付けてみよう		
⑭人間の尊厳について				人間の尊厳について考えよう		
⑮まとめ(レポート)				【予習】⑦～⑭を整理しよう		
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座11「ころとからだのしくみ」中央法規出版 ISBN978-4-8058-5771-7 C3036				その他参考文献など: 介護福祉士国家試験模擬問題集		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業では皆さんの積極的な発言を重視します。ヒトの心について考えていきましょう						

社会福祉学科

介護福祉 専攻

2年

科目名: 喀痰吸引				担当教員 氏名: 宮城 和美、境 美代子、小出 えり子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	2年次	前期	専門科目	演習	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 看護師としての臨床経験を活かし、基礎的知識や実施手順方法を修得できる授業をする。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
① 喀痰吸引について基礎的知識、実施手順および指導・評価方法を身につける。(結果確認報告の重要性を強調し、喀痰吸引について基礎的知識を身につける支援ができる。) ② 演習: 喀痰吸引の演習に係る方法を理解できる。					医療的ケア 安全・安楽 医療職との連携 感染予防	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短縮マトリックスで示される番号)		5. 6. 7. 9. 10	
A 知識・理解力		人体の構造や機能を学び、安全な喀痰吸引ができる基礎的知識を身につける。				
B 専門的技術		喀痰吸引について実施手順を理解できる。				
C 論理的思考力		安全管理体制の確保として医師・看護師・看護職員等で利用者の状態に関する情報の共有と報告、連絡相談等の連携の体制確保の重要性をのべることができる				
F チームワーク・リーダーシップ		刻々と変化する身体のアセスメントを行い、看護職員との連携・協力の重要性を理解し、報告できる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 30 %		レポート: 20 %		発表: %		実技試験: 30 %
その他: 20 %						
特記事項: その他の20%は、授業態度、参加姿勢を評価します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 第11・12・13・14回目に演習をする。第15回目にまとめをする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストや提出レポートにコメントを記載して返却します。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【小出】呼吸のしくみとはたらき				【予習】テキストを読む 【復習】①の復習	【予習】30分 【復習】30分	
②【小出】いつもと違う呼吸状態				【予習】テキストを読む 【復習】②の復習	【予習】30分 【復習】30分	
③【宮城】喀痰吸引とは				【予習】テキストを読む 【復習】③の復習	【予習】30分 【復習】30分	
④【宮城】人工呼吸器と吸引				【予習】テキストを読む 【復習】④の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑤【小出】子どもの吸引について、利用者や家族の気持ちと対応・説明と同意				【予習】テキストを読む 【復習】⑤の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑥【宮城】呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)				【予習】テキストを読む 【復習】⑥の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑦【宮城】喀痰吸引により生じる危険と事後の安全確認、事故発生時の対応と事前対策				【予習】テキストを読む 【復習】⑦の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑧【宮城】喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持				【予習】テキストを読む 【復習】⑧の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑨【宮城】吸引の技術と留意点				【予習】テキストを読む 【復習】⑨の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑩【宮城】喀痰吸引にともなうケア、報告および記録				【予習】テキストを読む 【復習】⑩の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑪【宮城・境・小出】演習: 口腔内および鼻腔内吸引のケア実施				【予習】DVD喀痰吸引を観る 【復習】⑪の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑫【宮城・境・小出】演習: 口腔内および鼻腔内吸引のケア実施と報告・片付け・記録				【予習】テキスト喀痰吸引実施を読む 【復習】⑫の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑬【宮城・境・小出】演習: 気管カニューレ内部吸引のケア実施				【予習】テキストの喀痰吸引実施を読む 【復習】⑬の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑭【宮城・境・小出】演習: 気管カニューレ内部吸引のケア実施と報告・片付け・記録				【予習】テキスト喀痰吸引実施を読む 【復習】演習の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑮【宮城】喀痰吸引まとめ				【予習】配布資料を読む。	【予習】30分	
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座 15「医療的ケア」中央法規出版 ISBN978-48058-5775-5 C6036 写真でわかる介護職のための医療的ケア インターメディア出版 ISBN978-4-89996-329-5 C3047 ※いずれも1年次購入済				その他参考文献など: DVDで学ぶ喀痰吸引・経管栄養の手順と留意点 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養 研修用教材 <DVD>		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 医療的ケアを介護福祉士が行うことの意味を自覚し、利用者の尊厳を守る行為として考えてほしい。医療的ケアは安全に行う必要があり、生命に関わる行為であることから、筆記試験、また、実技試験の修得に向けて、自ら学習し実技の練習をして下さい。医療的依存度の大きい要介護者も増加しているが、要介護者の生活という視点を忘れずに、生活支援のあり方も同時に追求して欲しい。 医療的依存度の大きい要介護者も増加しているが、要介護者の生活という視点を忘れずに、生活支援のあり方も同時に追求して欲しい。						

社会福祉学科		介護福祉 専攻			2年	
科目名: 経管栄養				担当教員 氏名: 宮城 和美、境 美代子、小出 えり子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	2年次	前期	専門科目	演習	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 看護師としての臨床経験を活かし、基礎的知識や実施手順方法を修得できる授業をする。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
①経管栄養について基礎的知識を身につける支援ができる。 ②経管栄養の演習に係る指導・実施評価方法を身につける支援ができる」ことに目標を設定する。安全管理体制の確保として医師・看護師・看護職員等で利用者の状態に関する情報の共有と報告、連絡相談等の連携の体制確保の重要性を強調すること。					医療的ケア 安全・安楽 医療職との連携 感染対策	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		5. 6. 7. 9. 10	
A 知識・理解力		人体の構造や機能を学び、安全な経管栄養ができる基礎的知識を身につける。				
B 専門的技術		経管栄養:経管栄養について実施手順を理解する。				
C 論理的思考力		安全管理体制の確保として医師・看護師・看護職員等で利用者の状態に関する情報の共有と報告、連絡相談等の連携の体制確保の重要性をのべることができる。				
F チームワーク・リーダーシップ		刻々と変化する身体のアセスメントを行い、看護職員との連携・協力の重要性を理解し、報告できる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 30 %		レポート: 20 %		発表: %		実技試験: 30 %
その他: 20 %						
特記事項: その他の20%は、授業態度、参加姿勢を評価します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 第11・12・13・14回目に演習をする。第15回目にまとめをする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストや課題レポートにコメントを記載し返却します。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容		学習に必要な時間(分)	
①【宮城】消化器系のしくみとはたらき			【予習】テキストを読む 【復習】①の復習		【予習】30分 【復習】30分	
②【小出】消化・吸収とよくある消化器の症状			【予習】テキストを読む 【復習】②の復習		【予習】30分 【復習】30分	
③【小出】経管栄養とは、注入する栄養剤に関する知識			【予習】テキストを読む 【復習】③の復習		【予習】30分 【復習】30分	
④【宮城】経管栄養実施上の注意点			【予習】テキストを読む 【復習】④の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑤【宮城】子どもの経管栄養について、利用者や家族の気持ちと対応・説明と同意			【予習】テキストを読む 【復習】⑤の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑥【宮城】経管栄養に関係する感染と予防			【予習】テキストを読む 【復習】⑥の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑦【宮城】経管栄養に生じる危険と注入後の安全確認、事故発生時の対応と事前対策			【予習】テキストを読む 【復習】⑦の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑧【宮城】経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持			【予習】テキストを読む 【復習】⑧の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑨【宮城】経管栄養の技術と留意点			【予習】テキストを読む 【復習】⑨の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑩【宮城】経管栄養に必要なケア、報告および記録			【予習】テキストを読む 【復習】⑩の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑪【宮城・境・小出】演習: 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養のケア実施			【予習】DVD経管栄養を観る 【復習】⑪の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑫【宮城・境・小出】演習: 胃ろうまたは腸ろうによるケア実施と報告・片づけ・記録			【予習】テキスト経管栄養実施を読む 【復習】⑫の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑬【宮城・境・小出】演習: 経鼻経管栄養のケア実施			【予習】テキスト経管栄養実施を読む 【復習】⑬の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑭【宮城・境・小出】演習: 経鼻経管栄養のケア実施と報告・片づけ・記録			【予習】テキスト経管栄養実施を読む 【復習】⑭の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑮【宮城】半固形化栄養剤による胃ろうまたは腸ろうの経管栄養、経管栄養まとめ			【予習】配布資料を読む		【予習】30分	
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座 15「医療的ケア」中央法規出版 ISBN978-4-8058-5775-5 C3036 写真でわかる介護職のための医療的ケア インターメディア出版 ISBN978-4-89996-329-5 C3047 ※いずれも1年次購入済			その他参考文献など: DVDで学ぶ喀痰吸引・経管栄養の手順と留意点 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修用教材 <DVD>			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 医療的ケアを介護福祉士が行うことの意味を自覚し、利用者の尊厳を守る行為として考えてほしい。医療的ケアは安全に行う必要があり、生命に関わる行為であることから、筆記試験、また、実技試験の修得に向けて、自ら学習し実技の練習をして下さい。医療的依存度の大きい要介護者も増加しているが、要介護者の生活という視点を忘れずに、生活支援のあり方も同時に追求して欲しい。						

社会福祉学科			介護福祉 専攻		2年				
科目名: 介護実習 I-②				担当教員 氏名: 宮嶋 潔					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	前期	専門科目	実習	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 専任教員が巡回指導を行う。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
多様な場で生活する利用者とその家族とのコミュニケーションを通してサービス機能と利用者像を理解する。					居宅 ホームヘルパー 個別ケア コミュニケーション				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)						
			2. 3. 4. 5. 6. 7						
A 知識・理解力		利用者の生活の場や介護ニーズを理解することができる。訪問介護の仕組みと訪問介護員の生活支援機能を理解することができる。							
B 専門的技術		基本的な生活支援技術を経験することができる。							
F チームワーク・リーダーシップ		訪問介護員の役割を理解することができる。チームケアを知ることができる。							
G 倫理観		利用者の尊厳を守ることができる							
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	100 %
特記事項: 実習施設評価及び学内評価にて採点します。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 施設評価を個人面談形式で伝達します。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
				日々の記録を振り返る	【予習】30分 【復習】30分				
				↓	↓				
詳細については「実習要綱」に記載									
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」 中央法規出版 ISBN978-4-8058-5770-0 C3036 ※1年次購入済 ※「介護実習要綱」2年次配布									
その他参考文献など:									
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 実習は利用者の居宅で行われるものなので、十分にそのことを認識して臨んで下さい。									

社会福祉学科

介護福祉 専攻

2 年

科目名： 介護実習 I - ③				担当教員 氏名： 宮嶋 潔					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	2年次	前期	専門選択科目	実習	選択	介護福祉士(必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			各教員の実務経験をもとに実習指導を行う。						
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード				
多様な場で生活する利用者・家族とのコミュニケーションを通してサービス機能と利用者像を理解する					障害福祉サービス、家族、地域、アセスメント、エンパワメント				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 4. 5. 6. 7.					
A 知識・理解力		居宅で暮らす利用者や障がい者が生活する場や生活の実際を知り、支援方法を理解することができる。							
B 専門的技術		高齢者や障がい者の生活支援技術の実践力をやしなう。							
C 論理的思考力		利用者の生活状況からアセスメントし、ニーズを思考することができる。							
F チームワーク・リーダーシップ		同職種・他職種との連携のあり方を学ぶことができる。							
成績評価の基準と方法： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	%	発表：	%	実技試験：	%	その他：	%
特記事項：実習施設評価及び学内評価にて採点します。 本科目は、アクティブ・ラーニングの一環として、実習を県内の障害者施設において行う。									
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ノイヘンツェン、ノイグループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 実習終了後に実習施設からの評価を各学生に伝達する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容		学習に必要な時間(分)			
詳細については「実習要綱」に記載				実習要綱に記載		【復習】60分			
						【復習】60分			
						【復習】60分			
						【復習】60分			
						【復習】60分			
						【復習】60分			
						【復習】60分			
						【復習】60分			
						【復習】60分			
						【復習】60分			
						【復習】60分			
						【復習】60分			
使用テキスト： 最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」 中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会 ISBN978-4-8058-5770-0 ・「令和2年度実習要綱」				その他参考文献など：					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 実習は利用者の生活の場で行われるものなので、十分にそのことを認識して真摯に臨んで下さい。									

社会福祉学科

介護福祉 専攻

2 年

科目名: 介護福祉研究				担当教員 氏名: 宮嶋 潔、境 美代子、毛利 亘、宮城 和美		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	通年	専門必修科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			福祉・医療分野の実務経験を有した教員が、多方面の研究経歴と研究経験をもとに、介護福祉全般の諸課題について研究論文作成の指導をする。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
自身で研究テーマを決定し、1年間を通して福祉に関する研究を、AD教員の指導のもとに取り組み、課題解決や実践現場のプロとしての研究法を身につける。					研究計画 研究アプローチ 考察	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 8. 9.	
A 知識・理解力		福祉に関する研究に関する知識を、指導や文献調査によって修得することができる				
B 専門的技術		福祉に関する実践的専門技術を、研究を通して学ぶことができる				
C 論理的思考力		想起・研究・考察・実践のプロセスを理解し、思考することによって課題解決を模索することができる				
D 問題解決力		研究を通して、問題・課題を明確化し、対応策を模索することができる。				
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: %		レポート: %		発表: 50 %		実技試験: %
その他: 50 %						
特記事項: その他とは、1年間を通しての研究の取り組みの姿勢、提出物等の遵守をいいます。 本科目は、アクティブ・ラーニングの一環として、学生が実際に調査・研究活動を行う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 後期の始めに中間報告会、年度の終わりに発表会を行います。それに関する論文等の提出を義務付けます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
使用テキスト: 各自研究テーマに関する資料を提示する。				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 積極的に、探究心を持って取り組んでください。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
回数				学習内容		学習に必要な時間(分)
1	年間の予定の確認・研究とは【毛利】					【復習】30分
2	研究方法【毛利】					【復習】60分
3	以降、指導教員ごとに展開			各ADごとの取り組みとなるため、統一した学習内容ではない。		【復習】60分
4	研究テーマ及び方法を考える					【復習】60分
5	研究テーマの決定					【復習】60分
6						【復習】60分

※前ページよりつづき

社会福祉学科

介護福祉 専攻

2 年

科目名： 介護福祉研究		担当教員 氏名： 宮嶋 潔、境 美代子、毛利 亘、宮城 和美	
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等)	
		学習内容	学習に必要な時間(分)
7	研究テーマ・サブタイトルを考える		【復習】60分
8	研究計画を立てる		【予習】60分 【復習】60分
9	以降、研究活動	各ADごとの取り組みとなるため、統一した学習内容ではない	【復習】60分
10			【予習】60分 【復習】60分
11			【予習】60分 【復習】60分
12			【予習】60分 【復習】60分
13			【予習】60分 【復習】60分
14			【予習】60分 【復習】60分
15			【予習】60分 【復習】60分
16	中間報告会		【予習】60分 【復習】60分
17			【予習】60分 【復習】60分
18			
19			【予習】60分 【復習】60分
20			【予習】60分 【復習】60分
21			【予習】60分 【復習】60分
22			【予習】60分 【復習】60分
23			【予習】60分 【復習】60分
24			【予習】60分 【復習】60分
25			【予習】60分 【復習】60分
26			【予習】60分 【復習】60分
27	論文提出		【予習】60分 【復習】60分
28			【予習】60分 【復習】60分
29	パワーポイントデータ提出及び発表会リハーサル		【予習】60分 【復習】60分
30	研究発表会		【予習】60分 【復習】60分